

2011. 6. 11
岩手県総務部総合防災室
特命参事 越野修三

東日本大震災の初動対応における教訓

【災害対策本部活動】

- 県庁が被害を受けなかったこともあり、立ち上がりは通常の訓練通りにスムーズであった。
- ⇒岩手宮城内陸地震の教訓を踏まえ、本部支援室体制を強化し、年に数回の図上訓練を実施
- 自衛隊との連絡調整が円滑に実施できた。
- ⇒県庁内（12F）に自衛隊第9師団司令部（災害派遣部隊の本部）のスペースを確保
- 各機関との連携が円滑にできた。
- ⇒平素の訓練からオペレーションルームに各防災機関のリエゾンのブースを設け、総合調整所で輕易に調整
- 沿岸市町村とは通信連絡が取れず、情報収集が困難
- ⇒衛星電話も不通（庁舎が被害、停電のため使用できず、発電機も燃料不足で使用できず）3日目に衛星携帯電話を市町村へ配布
- 縦割り行政の弊害、職員の意識が県と市町村の役割に固執
- ⇒副知事を長とした部局横断的な専従チームを編成し、本部支援室体制の統制、調整機能を強化（3/25）

【人命救助活動】

- 発災2日目の早朝から自衛隊、消防、DMATによる人命救助活動を実施
- ⇒平素から自衛隊等との訓練や沿岸市町村での活動拠点の確認など、自衛隊等との連携体制を構築
- 道路が津波による冠水とガレキのため寸断し、孤立地域が多発（ピーク時194カ所）
- ⇒ヘリコプターの集中運用による救助活動
- ヘリコプターの機数に比し、膨大かつ広域にわたっての救助要請
- ⇒生命に係わる傷病者等を最優先

【消火活動】

- 火災が多発するも道路が冠水、ガレキのため消防車による消火活動が実施で

きず

⇒大型ヘリコプター（チヌーク）を消火に運用

【避難者への物資支援】

●3日間は十分な支援物資を避難所に届けられなかった。

⇒高速道路、JR不通のため、応援物資が届かず。

⇒市町村との連絡が取れず、物資を届ける場所が不明

⇒道路が寸断しているため、届けたくても届けられず

⇒避難所まで運搬する車両と燃料が不足

} 3日分の
備蓄が必要

【緊急支援物資の集積・輸送】

●国の物流の流れが縦割りで、調整に苦労

⇒国及び県の物流のシステムを早期に確立する必要あり

●膨大な量の救援物資を集積、配分、輸送するためには、屋根のある広大な作業ヤードが必要

⇒県の物流拠点として県産業文化センターアピオを使用したがる、できれば空港の近くに設定できればベター

●深刻な燃料不足により救援活動に支障

⇒従来の組織とは別に、燃料に関する専従チーム燃料班を編成して対応

【遺体処理】

●遺体安置所への収容、火葬場への輸送、火葬能力の限界

⇒市町村単独では処理できず、県の早期からの支援と土葬の検討

【ガレキ撤去・道路啓開】

●主要道路がガレキのため通行不能

⇒自衛隊により道路啓開するも重機不足（特にクラップル）

【医療支援活動】

○迅速にDMATが活動できた

⇒平素からDMAT、自衛隊、消防等との連携訓練の実施（前年度、花巻空港において広域医療搬送訓練を実施）

●現場と本部との連絡が十分取れなかった。

⇒DMAT各チームに衛星携帯の装備が必要

初動における対応状況

3月11日（金）

- 14:46 発災、岩手県災害対策本部設置
- 14:52 自衛隊に災害派遣要請
- 14:59 緊急消防援助隊の派遣要請
- 15:45 第1回災害対策本部会議
沿岸市町村との通信連絡不能
テレビ、防災ヘリコプター等の情報により、被害甚大と認識
- 17:00 断片的に沿岸各地の被害情報が入りだす
- 18:00 第2回災害対策本部会議
- 19:00頃から
洋野町、普代村以外は被害甚大だが細部不明
逐次、救助要請、避難者情報、火災情報、救援物資の要請
- 20:00 災害救助法の適用が発表
- 21:00 第3回災害対策本部会議
- 22:55 厚労省にDMATの派遣要請

3月12日（土）

- 04:00 自衛隊による救助活動
～
- 09:00 第4回災害対策本部会議
- 14:00 政府調査団（要望対応）
- 18:00 第5回災害対策本部会議
災害救助法の適用（22市町村を追加し、県内全市町村に適用）

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波の発生に伴う岩手県の被害状況

(各市町村の被害・避難状況：平成23年6月6日 17:00時点)

1 地震の概要

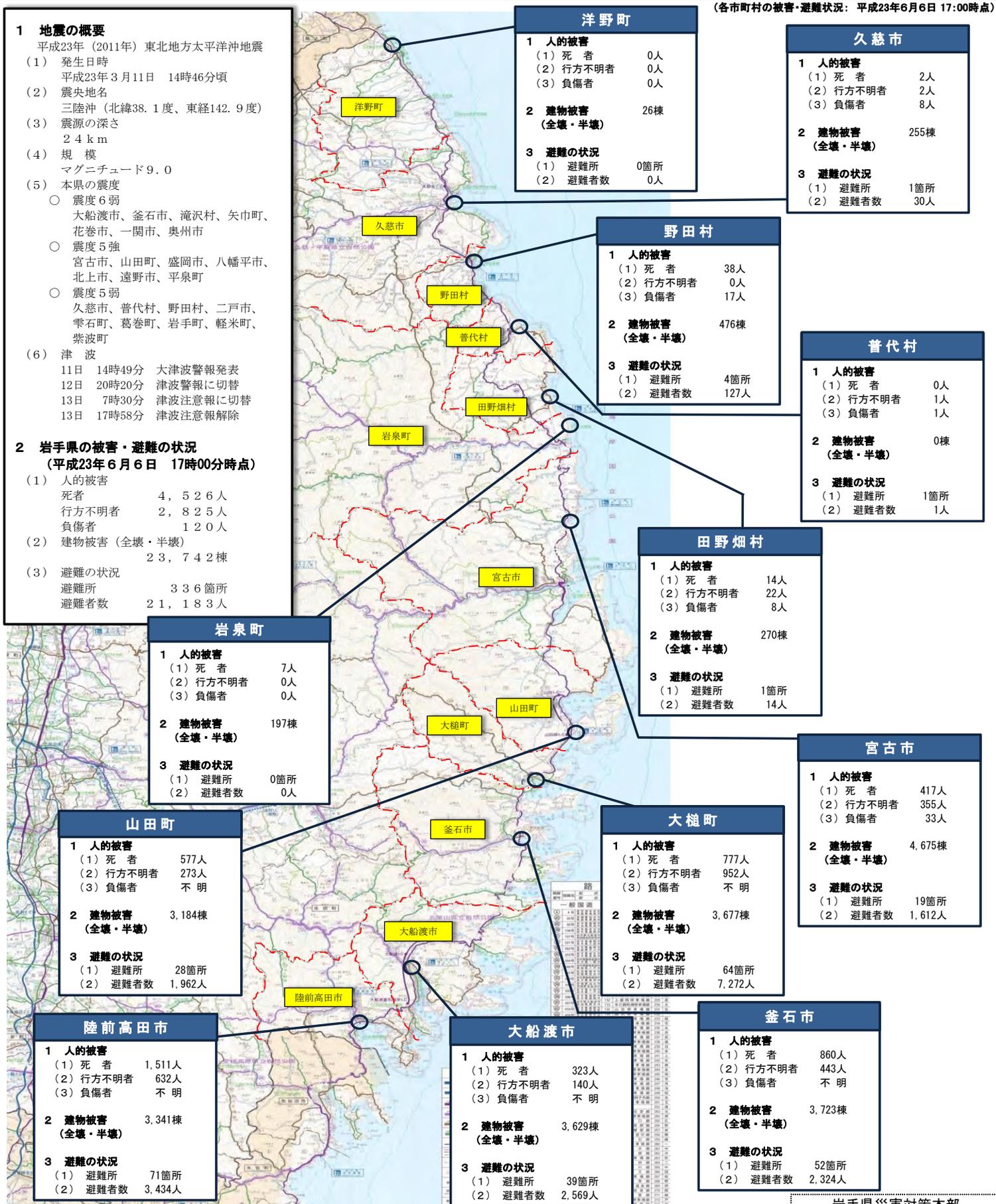
平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震

- (1) 発生日時
平成23年3月11日 14時46分頃
- (2) 震央地名
三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度）
- (3) 震源の深さ
24 km
- (4) 規模
マグニチュード9.0
- (5) 本県の震度
 - 震度6弱
大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市
 - 震度5強
宮古市、山田町、盛岡市、八幡平市、北上市、遠野市、平泉町
 - 震度5弱
久慈市、普代村、野田村、二戸市、雫石町、葛巻町、岩手町、軽米町、紫波町
- (6) 津波
 - 11日 14時49分 大津波警報発表
 - 12日 20時20分 津波警報に切替
 - 13日 7時30分 津波注意報に切替
 - 13日 17時58分 津波注意報解除

2 岩手県の被害・避難の状況

(平成23年6月6日 17時00分時点)

- (1) 人的被害
 - 死者 4,526人
 - 行方不明者 2,825人
 - 負傷者 120人
- (2) 建物被害（全壊・半壊）
23,742棟
- (3) 避難の状況
 - 避難所 336箇所
 - 避難者数 21,183人



洋野町

1 人的被害	
(1) 死者	0人
(2) 行方不明者	0人
(3) 負傷者	0人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	26棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	0箇所
(2) 避難者数	0人

久慈市

1 人的被害	
(1) 死者	2人
(2) 行方不明者	2人
(3) 負傷者	8人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	255棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	1箇所
(2) 避難者数	30人

野田村

1 人的被害	
(1) 死者	38人
(2) 行方不明者	0人
(3) 負傷者	17人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	476棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	4箇所
(2) 避難者数	127人

普代村

1 人的被害	
(1) 死者	0人
(2) 行方不明者	1人
(3) 負傷者	1人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	0棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	1箇所
(2) 避難者数	1人

田野畑村

1 人的被害	
(1) 死者	14人
(2) 行方不明者	22人
(3) 負傷者	8人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	270棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	1箇所
(2) 避難者数	14人

岩泉町

1 人的被害	
(1) 死者	7人
(2) 行方不明者	0人
(3) 負傷者	0人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	197棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	0箇所
(2) 避難者数	0人

宮古市

1 人的被害	
(1) 死者	417人
(2) 行方不明者	355人
(3) 負傷者	33人
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	4,675棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	19箇所
(2) 避難者数	1,612人

山田町

1 人的被害	
(1) 死者	577人
(2) 行方不明者	273人
(3) 負傷者	不明
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	3,184棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	28箇所
(2) 避難者数	1,962人

大槌町

1 人的被害	
(1) 死者	777人
(2) 行方不明者	952人
(3) 負傷者	不明
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	3,677棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	64箇所
(2) 避難者数	7,272人

陸前高田市

1 人的被害	
(1) 死者	1,511人
(2) 行方不明者	632人
(3) 負傷者	不明
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	3,341棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	71箇所
(2) 避難者数	3,434人

大船渡市

1 人的被害	
(1) 死者	323人
(2) 行方不明者	140人
(3) 負傷者	不明
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	3,629棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	39箇所
(2) 避難者数	2,569人

釜石市

1 人的被害	
(1) 死者	860人
(2) 行方不明者	443人
(3) 負傷者	不明
2 建物被害 (全壊・半壊)	
	3,723棟
3 避難の状況	
(1) 避難所	52箇所
(2) 避難者数	2,324人

岩手県災害対策本部